

漢字では「沢胡桃」と書き、沢に生えるクルミの意味。成長が非常に早く、まっすぐにすわりと伸びるのが特徴です。高さ10～20mの高木になります。

花は5月ごろ。雌雄同株。長さ10～20cmほどの房状で垂れ下がります。

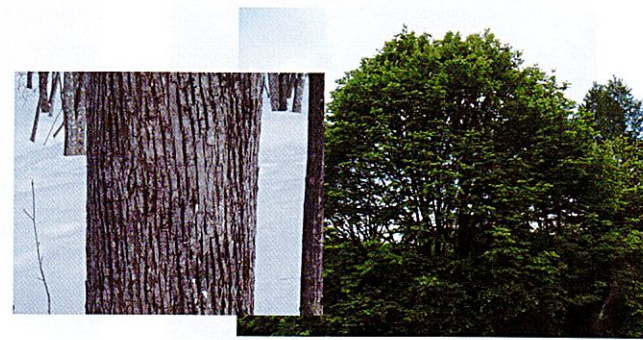
葉は5～10対の長さ5～12cmほどの小さな葉が集まって羽根状になり、全体では20～30cmほどの長さになります。秋になると黄葉して落葉し、葉が落ちた痕が大きく残り、目立ちます。ハート形の丸みのある輪郭で、ユーモラスな顔のように見えて、ほっこりします。

一般的なイメージの食用になるクルミの実ではなく、長く垂れさがる房に10～30個の果実をつけます。1つの果実は直径8mmほどの小さなもので、食用にはなりません。果実には翼があり、風に乗って飛んで行きます。また水に浮きやすい性質をもっており、沢の流れに乗って遠くまで移動します。

冬芽は、でき始めた夏から秋ごろは芽鱗(がりん)に包まれているのですが、本格的な冬が来る前には落ちて、裸芽になって冬を越します。守る役目の芽鱗がなくなってしまうと大丈夫かと心配してしまいがちですが、中から出てきた裸芽は長さ1～2.5cmほどの長楕円形で、茶褐色の柔らかい毛に包まれていて、冬の寒さに耐えられる強い子に育っています。春になると、裸芽が目覚まして背伸びをするように伸び始めます。ぐんぐんと手足を伸ばし芽吹いていく様子は生命の力強さを感じます。サワグルミの冬芽観察は秋から春の楽しみのひとつです。

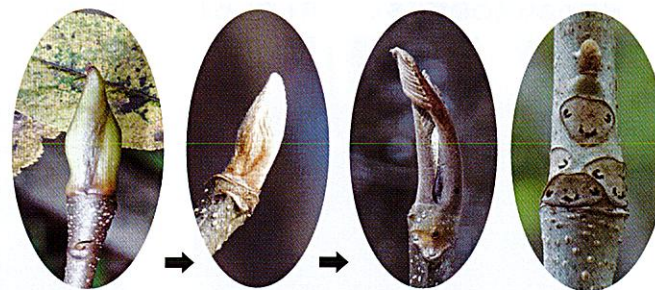
材は白色で軽いのが特徴ですが、変色、腐朽が入りやすく、割れやすい欠点があり、マッチの軸木、経木、杓子などに利用されていました。また、樹皮が強靱なことから雨合羽として用いたり、山小屋の屋根を葺くのに使用されました。

このあたりにはよく自生しており、県民の森では散策路Aコースや七滝登山道などでよく見られます。



樹皮 3/17

新緑 5/28



若い冬芽
10/13

冬の冬芽
2/28

伸びてきた冬芽
4/2

葉痕
5/13



芽吹き 4/22



開花の様子 5/9



花 5/25



若い実 6/8



葉 6/12



熟した実 9/25

県民の森だより



5月の雪景色 「みんなの広場」シラカンバ並木 2023/5/9

森林ふれあい学習館 ギャラリー 展示

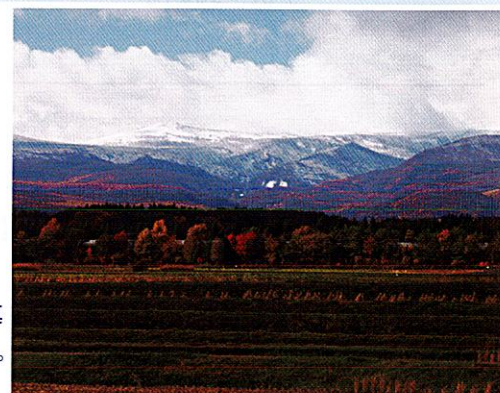
お問い合わせ 学習館☎0195-78-2092

八幡平の風景

2024年5月3日(金)～30日(木)

盛岡の西部公民館を拠点とする「西部写真クラブ」会員の作品展。八幡平の風景に魅せられて、四季を通じて撮影した作品は、これまでとは異なる視点で、美しい八幡平の風景を味わえます。

【西部写真クラブ】西部公民館で毎月「第三木曜日」に例会を開き、菊池啓造先生の指導のもと、写真技術の向上、会員相互の親睦を図っています。6月・11月の展示会、春・秋の撮影旅行を中心に活動。現在会員数7名(女性1名・男性6名)



岩手山麓の5月は、一年でいちばん爽やかな季節。淡い新緑のなか、次々に咲く花を愛でながら気持ちの良い散策が出来ます。岩手山や八幡平の稜線には残雪、時には季節はずれの雪が降ることもあり、県民の森ならではの美しい風景を味わえます。「みんなの広場」は駐車場に隣接してバリアフリーの散策路が開設されており、気軽に雄大な自然を楽しめます。

岩手県民の森 管理事務所

〒028-7302 岩手県八幡平市松尾寄木 1-515-5 森林ふれあい学習館フォレストアイ

TEL.0195-78-2092 FAX.0195-71-1778

開館時間：9時～16時 火曜休館(祝日の場合翌日振替)

(旧 Twitter)
@forest_iwate



新緑の森でツツジを愛でる。

新緑の頃、県民の森ではツツジの花たちが次々に花を咲かせます。淡い新緑と赤やピンク、紫、橙、白と様々な色合いの美しい花たちの色彩のコラボレーションは、この季節の風物詩です。



【昭和の森 ハルニレの新緑と点在するレンゲツツジ】2023/5/26
昭和の森に多く植栽されているハルニレは特に新緑が美しいことで有名。この時期に花の盛りを迎えるレンゲツツジが華を添えます。

【レンゲツツジ（蓮華躑躅）】【上：キレンゲツツジ】2023/5/29
県民の森にはいたるところに植栽され、大型のオレンジ色の豪華なツツジ。全木に毒があるので、蜜は吸わないようにご注意ください。



【イワテムラサキ（岩手紫）】2023/5/30
記念の森のあずまの北斜面に植栽されている美しい岩手のツツジです。



【ヤマツツジ（山躑躅）】2023/5/27
園内各所や七滝登山道下部でよく見られるピンク色の清楚なツツジです。



【ムラサキヤシオ（紫八潮）】2023/5/29
新緑の山で一際目立つ鮮やかな紫色の山のツツジ。七滝登山道で見られます。



【コヨウラクツツジ（小瑠瑠躑躅）】2023/5/30
釣り鐘型の可愛い花。七滝登山道に自生、木材工芸センター裏にも植栽されています。



【ウスノキ（白の木）】2022/5/30
白緑色の花。花の後に出来る実が「白」に似ているのが名の由来。七滝登山道で見られます。



【ドウダンツツジ（満天星躑躅）】2023/5/15
満天星は、中国語名表記をそのまま引用したもの。白いキュートな釣り鐘型の花です。

希樹園のツツジたち



【ナツハゼ（夏樺）春紅葉】2023/5/12
春～夏、陽当たりの良い場所の株の葉が、秋の紅葉のように赤みを帯びるため、紅葉の美しいハゼノキに例えて名付けられました。



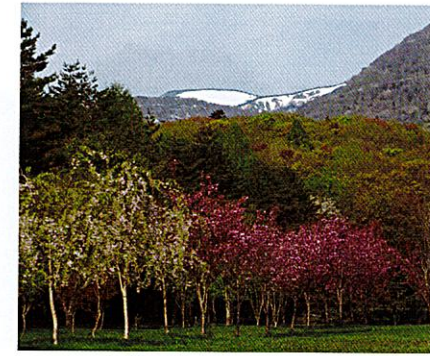
【ガクウラジロヨウラク（萼裏白瑠瑠）】2022/5/30
花が仏像が身に着けている装身具「瑠瑠」に似ていることが名の由来。可憐なピンクの花。大地獄谷で見られます。



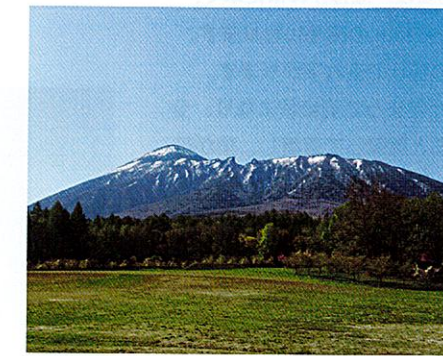
【サラサドウダン（更紗満天星）】2023/5/26
ガラス細工のような繊細で美しい花。白地にピンクの縦筋模様（更紗模様）が入ることが名の由来。

県民の森の5月の風景

爽やかな季節。園内どこを歩いても、美しい新緑や木々の芽吹きに出会えます。



【遅咲きの桜カンザンと枝垂れ桜】2023/5/10
県民の森は桜の種類が多く、5月も楽しめます。



【残雪の岩手山】2023/5/11
まだ稜線には雪が残る季節です。



【森の大橋から見る新緑】2023/5/14
淡い緑色、爽やかな風が流れます。



【雪融け時のみ流れる枯れ沢】2023/5/15
七滝へ到着する直前にある枯れ沢。実はこの山の雪融けの時期、数日間だけ水流が見られる幻の沢です。



【ブナの新緑】2023/5/16
ブナの新緑は息を呑む美しさです。七滝登山道の一服峠手前あたりや、園内Aコースでその清々しい風景を見ることが出来ます。



【ツツドリ】2023/5/16
「ポポ ポポ」と鼓を打つような声で鳴くのが名の由来。例年、夏鳥として飛来、「みんなの広場」周りでよく出会います。

県民の森 新緑のイベント

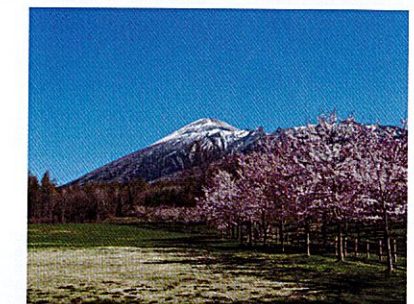
春の森さんぽ

2024年5月4日（土）
10:00～12:00

【定員】 10名
【参加費】 500円

ガイドと一緒に森の中をゆっくり散策して岩手山麓ならではの春の自然を楽しめます。【初心者対象】

【持ち物】 飲み物・帽子・手袋・防寒具・雨具
【服装】 散策できる服装・靴



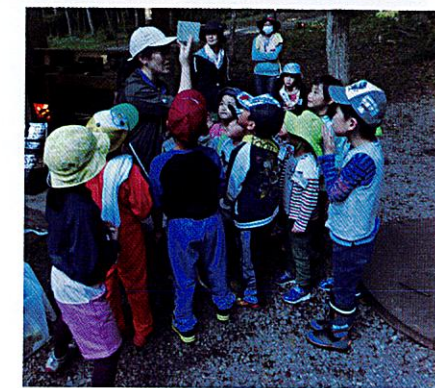
親子で自然を楽しもう

2024年5月11日（土）
10:00～12:00

【定員】 15名
【参加費】 大人：500円
子供：300円

～みて、きいて、さわってみて！
五感を使った体験プログラム～
爽やかな新緑のなか、岩手山麓の雄大な自然をネイチャーゲームなどを通して楽しめます。【親子対象】

【持ち物】 飲み物・ビニール袋（各家庭1枚）
敷物、バケツ（各家庭1個）
【服装】 散策できる服装・靴



新緑の七滝さんぽ

2024年6月8日（土）
9:00～13:00

【定員】 15名
【参加費】 1,000円

新緑の森をゆっくりあるいて、清々しい七滝を満喫、季節の花も楽しめます。【初心者対象】

【持ち物】 飲み物・帽子・手袋・防寒具・雨具
常備薬・ザックなど
【服装】 散策できる服装・靴

